

2017年7月25日

「OCN」における通信品質向上のための取り組みについて

～IPoE方式を用いたIPv6インターネット接続機能の提供を開始～

NTTコミュニケーションズ(以下、NTT Com)は、日本最大^{※1}のインターネット接続サービス「OCN」において、IPoE方式^{※2}を用いたIPv6インターネット接続機能を無料で提供します。

これは、通信方式の違い(IPv4/IPv6)によって利用するネットワーク設備を自動的に振り分けることで、YouTubeのような動画視聴をはじめとしたインターネットのご利用をより快適にする取り組みです。2017年7月25日から順次、提供を開始します。

1. 背景

近年、動画のように容量が大きなコンテンツサービスの利用が急増し、インターネットを流れるデータ通信量(トラフィック)が飛躍的に増加しています [別紙参照]。データ通信量の急増は、多くのお客さまの利用が集中する時間帯で、通信速度の低下が生じる原因の一つとなっています。

NTT Comはこのような状況の改善を目的に、これまでも通信設備の増設^{※3}や、混雑時における『「OCN」における品質向上のための取り組みについて(2016年6月1日実施)』などを行ってまいりましたが、このたびさらなる通信品質の向上を目指し、あらたな取り組みを実施します。

2. 取り組みの概要

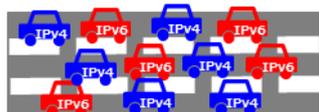
従来のPPPoE方式^{※4}によるインターネット接続機能に加えて、ネットワーク設備の大容量化およびIPv6対応を可能にするIPoE方式のインターネット接続機能を導入します。これにより、IPv4通信とIPv6通信の分散化を行うことで、利用の集中による混雑の緩和を図り、通信品質の向上に努めます。

また、本取り組みによってIPv6の普及促進にも貢献します。従来「OCN」のIPv6による接続はPPPoE方式に限られており、これに対応するためNTT東日本・NTT西日本が提供するホームゲートウェイ(以下、HGW)または「IPv6トンネル対応アダプタ」の接続が必要でした。このたびあらたにIPoE方式を導入することで、同方式に対応したHGWであればアダプタが不要になるほか、HGW以外の機器にも対応^{※5}可能となるため、より多くのお客さまにIPv6をご利用いただけるようになります。

【取り組みのイメージ】

実施前

IPv4による通信とIPv6による通信で
同じ設備(例えるなら道路)を利用



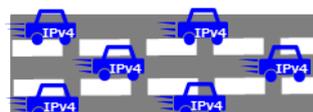
PPPoEの“道路”

通信を分散化

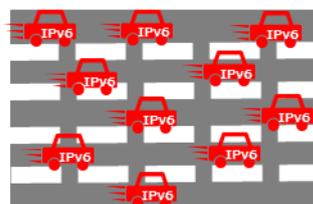
実施後

2017年7月25日から

IPv6による通信を別の設備へ移行
IPv4は空いた設備を快適に利用



PPPoEの“道路”



IPoEの“道路”

【IPv6で通信するコンテンツの例】

YouTube
Netflix
Facebook
Windowsアップデート
など (NTT Com調べ)
対応コンテンツは増加中

3. 提供機能の詳細

(1) 機能名

OCN IPv6 インターネット接続機能(IPoE)

ご利用にあたって、お申し込みは不要です。また、追加の料金はかかりません。

(2) 提供条件

以下の対象サービスの標準機能として提供

本機能に関する詳細、注意事項などは以下の Web ページをご参照ください。

<http://www.ntt.com/personal/services/internet/hikari/ipv6/ipoe.html>

(3) 対象サービス(個人のお客さま向け)

- ・「OCN 光」
- ・「OCN for ドコモ光」

なお、今後「OCN 光 with フレッツ」「OCN 光 「フレッツ」」において NTT 東日本・NTT 西日本の「フレッツ光ネクスト」回線をご利用のお客さまにも提供していく予定です。

(4) 提供開始日

【新規に対象サービスをお申し込みされるお客さま】

- ・「OCN 光」 2017年7月25日
- ・「OCN for ドコモ光」 2017年9月予定

【既に対象サービスをご利用中のお客さま】

2017年8月から順次提供

(提供地域によって提供時期が異なります。詳細は別途お客さまにご案内させていただきます)

ます。)

4. 今後の予定

IPv4 通信においても IPoE 方式で接続できる機能の提供など、今後もお客さまがより快適にインターネットをご利用いただけるよう、さまざまな取り組みを行ってまいります。

*記載されている会社名、製品名やサービス名は各社の登録商標または商標です。

※1: 2017年3月末のISP事業者のFTTH契約数シェア第1位。出典：株式会社MM総研「ブロードバンド回線事業者の加入件数調査（2017年3月末時点）」

※2: IP over Ethernet の略。Ethernet を使って IP パケットを伝送する方式のこと。NTT 東日本・NTT 西日本が提供するフレッツ網における IPv6 アドレスにも対応している。

※3: 詳細は「OCN の増設工事予定・完了状況」をご参照ください。

<http://support.ntt.com/ocn/information/detail/pid25000002e8>

※4: PPP over Ethernet の略。インターネットの利用者と ISP 事業者間の接続で多く利用されている従来型の接続方式のこと。

※5: IPv6 パススルー機能(IPv6 ブリッジ機能)に対応している必要があります。

